

授業科目 神経、筋疾患治療学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
小林 量作 他		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【一般目標：G10】 神経・筋疾患における理学療法の考え方、基礎知識、理学療法について学習する。					
【行動目標：SB0】 1. パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋ジストロフィー等の疾患の知識、理学療法評価、理学療法プログラムについて習得している。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	神経難病のリハビリテーション、理学療法（総論）			1	講義、担当：小林 量作
2	パーキンソン病			1	講義、担当：小林 量作
3	パーキンソン病 2			1	講義、担当：小林 量作
4	筋萎縮性側索硬化症			1	講義、担当：小林 量作
5	筋萎縮性側索硬化症 2			1	講義、担当：小林 量作
6	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症			1	講義、担当：小林 量作
7	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 2			1	講義、担当：小林 量作
8	多発性硬化症			1	講義、担当：小林 量作
9	ギランバレー症候群			1	講義、担当：小林 量作
10	多発性筋炎			1	講義、担当：小林 量作
11	他の神経筋疾患			1	講義、担当：小林 量作
12	他の神経筋疾患 2			1	講義、担当：小林 量作
13	筋ジストロフィー症			1	講義（近藤）
14	筋ジストロフィー症 2			1	講義（近藤）
15	まとめ			1	演習、担当：小林 量作
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		授業毎に資料配付			
【評価方法】 出席、レポート、期末試験			【履修上の留意点】		